

●Dual Clutch Transmission (DCT)

DCTは、二輪車ではHondaだけが採用している先進技術です。クラッチレバーとチェンジペダルによる一連の変速操作を自動化することで、ライダーはスロットル操作やハンドリングなど他の車体操作に集中でき、より確実に、安心感をもってファンライドを楽しめます。

DCTは、通常のトランスミッションのギア構成をベースに、奇数段(1,3,5速)用と偶数段(2,4,6速)用の2つのクラッチを備え、それぞれに対応するメインシャフトは、同軸で2本設けた構造を採用しています。変速時には油圧制御によってそれぞれが受け持つ変速ギアのクラッチ作動を連携させることで、スポーツ走行も楽しめるダイレクトな駆動力を発揮します。

また、駆動力が途切れることがないシームレスな変速により、変速時のショックがなく快適に加減速することができます。これによりタンデム走行で起こりがちなシフトチェンジ時のライダーとパッセンジャーのヘルメットがコツコツと当たる不快さを軽減させ、パッセンジャーへも快適性を提供します。

NT1100のDCTには、4つの自動変速モードと、ハンドルについたスイッチでギアの任意選択が可能となるマニュアルモードを用意しています。

■エンジン外観

